

平成30年度 社專協 第2回研究大会

3月23日(土)

14:00~17:00

第一部：講演 14:00~15:40

演題1：なぜ先行研究が大事なのか？

講師：ルーテル学院大学 浅野 貴博 先生

14:00~14:50

演題2：修士論文におけるロジックの作り方

講師：淑徳大学 結城 康博 先生

14:50~15:40

第二部：参加者による意見交換 15:50~17:00

浅野 貴博 専任講師 ルーテル学院大学総合人間学部
ワシントン大学大学院（米国：セントルイス）修士課程修了（MSW）。ヨーク大学大学院（英国）博士課程修了（PhD）著書：『ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック』（共著、中央法規出版、近刊）など。
論文：「Open window into professional learning: Post-qualifying learning among Japanese social workers」『Qualitative Social Work』（2018年）など。

結城 康博 教授 淑徳大学総合福祉学部
淑徳大学社会福祉学部卒業。法政大学大学院修了（経済学修士、政治学博士）。1994~2006年、東京都北区、新宿区に勤務し、介護職、介護支援専門員、地域包括支援センター職員として介護系の仕事に従事。専門分野は社会保障論、社会福祉学、政治学、財政学・金融論。
著書：『孤独死のリアル』（講談社、2014年）など。論文：「子育て施策は雇用保険料の引き上げでも」『週刊社会保障』、2016年など。

会場 社会福祉法人 長岡福祉協会
福祉プラザさくら川 1階集会室
東京都港区新橋6-19-2



■地下鉄

三田線：
御成門駅(徒歩3分)
銀座線・浅草線：
新橋駅(徒歩12分)
浅草線・大江戸線：大門
駅(徒歩8分)

■JR

新橋駅(徒歩12分)
浜松町駅(徒歩10分)

※お車でのご来場はご遠慮ください。